

## 令和3年度(2021年度) 市立札幌病院一括公表

## 1 インシデント

レベル	件数		説明
	2年度	3年度	
レベル0	2,341件 (59.9%)	2,121件 (55.7%)	前もって気づいた事例(例:採血管が不足しているのに気がついた等)
レベル1	1,124件 (28.8%)	1,232件 (32.4%)	実害がなかった事例(例:薬の与薬時間が遅れた等)
レベル2	444件 (11.3%)	453件 (11.9%)	確認のための検査は行ったが、処置や治療を行わなかった事例(例:転倒で打撲した箇所のレントゲン検査を行った等)
計	3,909件 (100%)	3,806件 (100%)	

## 2 アクシデント

レベル	件数		事例概要 ※レベル3b以上
	2年度	3年度	
レベル3a	176件 (91.2%)	120件 (89.6%)	○簡単な治療や処置を要した事例(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与等)
レベル3b	13件 (6.7%)	12件 (9.0%)	○濃厚な処置や治療を要した事例(バイタルサイン*1の高度変化、人工呼吸器の装着、入院日数の延長、外来患者の入院、手術等)  (事例の概要:過失なし) ①手術から数日後手術部位より出血し、止血術が必要となった ②大腿骨頸部骨折術後に病室で転倒し、同一部位の骨折により再手術が必要となった ③レントゲン撮影時の転倒により、頭蓋骨骨折、硬膜外血種*2を来し、入院期間が延長した ④腹部手術時に動脈解離*3が発症し、人工血管置換術*4が必要となった ⑤病室で転倒し、大腿骨頸部骨折を来し、手術が必要となった ⑥浴室で転倒し、脚の手術後断端部*5の創離開*6により、入院期間が延長した ⑦心臓カテーテル検査*7後に仮性動脈瘤*8が発症し、塞栓術*9が必要となった ⑧意識消失により転倒し、外傷性くも膜下出血*10を発症したことで入院期間が延長した ⑨除細動器植込み*11術後に気胸*12を発症し、胸腔ドレーン*13挿入が必要となった ⑩手術中に透析用の内シャント*14が閉塞し、内シャントの再造設が必要となった  (事例の概要:過失あり) ⑪白内障手術後、眼内レンズ*15の度数を間違えて挿入したことが発覚し、再手術となった ⑫廊下の障害物につまずき転倒したことで骨折し、手術が必要になった  (主な再発防止の取り組み) ・眼内レンズの度数は、術前に術者と他医療者で確認する体制とした ・やむを得ず、病棟廊下に物品を置く場合は、患者等の歩行の妨げにならないよう環境整備を行った ・定期的に病棟廊下の環境を点検することとした

レベル	件数		事例概要
	2年度	3年度	
レベル4	3件 (1.6%)	1件 (0.7%)	○障害が残った事例 (事例の概要：過失なし) ・経皮的カテーテルアブレーション*16後に脳梗塞を発症し、障害が残存した
レベル5	1件 (0.5%)	1件 (0.7%)	○死亡となった事例（原疾患の自然経過によるものを除く） (事例の概要：過失なし) ・腹部大動脈瘤の手術後、十二指腸穿孔*17を来し、穿孔部縫合術等を行ったが穿孔の状態が改善せず死亡した
計	193件 (100%)	134件 (100%)	

\*1バイタルサイン（生命徴候）：脈拍、呼吸、体温、血圧などのこと

\*2硬膜外血種：脳を覆う硬膜という膜と頭蓋骨との隙間に血液が貯留した状態のこと

\*3動脈解離：血管の内腔が裂けてはがれること

\*4人工血管置換術：患部の血管を人工血管に置き換える手術のこと

\*5断端部：切断して残された部分

\*6創離開：手術後に縫合創が開いてしまった状態のこと

\*7心臓カテーテル検査：足の付け根の動脈・静脈、あるいは腕の動脈から、心臓の各部屋や血管（冠動脈）に細く柔らかい管（カテーテル）を入れ、その中の圧力を測定したり、造影剤を使って心臓の各部屋の大きさ、筋肉・弁の動き、冠動脈が狭くなっているかどうかなどをみたり、不整脈の原因は何かなどを詳しく調べる検査のこと

\*8仮性動脈瘤：動脈に穴が開き、そこから漏れた血液が周りの組織を圧迫してコブ状になっているもの

\*9塞栓術：経皮的に動脈内に挿入したカテーテル（細い管）を通じて、病変に関与する動脈を人工的に閉塞させる手術のこと

\*10外傷性くも膜下出血：けがが原因で、脳を包んでいる髄膜の3層のうち、硬膜の内側にある薄いくも膜と脳の間に出血が広がったもの

\*11除細動器植込み：心臓の電氣的活動を常に監視し、命を危険にさらす心室頻拍や心室細動を感知すると電気ショックによる治療を行い、心臓の動きを正常に戻す機械を体内に植え込むこと

\*12気胸：肺から空気もれて、肺が小さくなった状態のこと

\*13胸腔ドレーン：肺と胸壁の間に挿入するチューブのこと

\*14内シャント：血液透析を行う上で必要なもので、人工的に静脈の中に動脈の血液が流れ込むように作ったもの

\*15眼内レンズ：白内障手術で濁った水晶体の代わりに眼の中に挿入する人工のレンズのこと

\*16経皮的カテーテルアブレーション：不整脈を引き起こす異常な心臓内の局所をカテーテルで焼灼して正常のリズムを取り戻す治療のこと

\*17十二指腸穿孔：十二指腸の壁に全層性の穴が開くこと

【レベル1～5 インシデント・アクシデント 種類別割合】

